

9月度の観察記録

カテゴリ : 2018年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2018-9-9

2018年9月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

平成30年 9月29日(日) 9:30~13:00 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人 20名, 子ども27名

天気: 曇りのち大雨のち曇り 四国に上陸し北上した台風21号と北海道を襲った最大震度7の大地震。観察会直前の1週間に2つの大災害が続きました。そんな中、この日も停滞する秋雨前線の影響で天気予報は雨模様。それでも歩き始める頃にはほぼ雨は上がり、途中ぱらつく時間帯もありましたが、幸い最後まで傘をささずに済みました。

里山の家での持ち込み観察項目: ムシクロツバメシジミ(外来種), オオシロカラカサタケ(外来種), ハゴロモ(外来種), 草トランプ, セミの標本箱? 最初に里山の家で外来種のキノコの紹介があり、近くで観察できるとのことだったので見に行くことにしました。歩道の植え込みの中にそのオオシロカラカサタケがたくさん生えていました。傘の大きさはさまざまでしたが、最大のもは直径が20センチほどもありました。近くのヤブガラシではコスズメとセスジスズメの幼虫が数頭見つかりました。セスジスズメの幼虫の中にはハチに寄生されて、繭を背負っているものがありました。その幼虫は生きていましたが、少し動きが鈍いようでした。





オオシロカラカサタケ コスズメの幼虫 寄生されたセスジスズメの幼虫 7月の観察会で葉の揺れ方の特徴を観察したヤマナラシの枝が台風のせい大きく折れてしまっていました。その近くではオオモンシロナガカメムシ、キマダラカメムシが続いて見つかりました。キマダラカメムシは外来種で今年の観察会で何度も出会っています。





折れたヤマナラシ オオモンシロナガカメムシ キマダラカメムシ キノコにはまっているという
参加者が、キノコを同定するには傘の裏側の形状を見ることが大切だと教えてくれました。傘の裏
側を観察すると、ひだ状になっているものと、スポンジ状になっているものがありました。後者は
イグチダケの仲間とのことでした。また、猛毒をもつテングタケも見つけることができました。



ひだ状のキノコの傘の裏側 スポンジ状のキノコの傘の裏側 テングタケ キノコを食べ物にする
生きものにも出会いました。イグチダケの仲間のキノコのスポンジ状の傘を割くと、**ショウジョウ
バエの幼虫**がたくさん見つかりました。よく観察しようとしてもあっという間に傘の中にもぐって
見えなくなりました。光を避けているのでは、という意見が出ました。別のキノコには**イセノナミ
マイマイ**が来ていて、傘の部分を食べているように見えました。**センチコガネ**が潜り込んでいるキノコ
もありました。センチコガネは糞虫として知られていますが、キノコも食べるようです。



ショウジョウバエの幼虫 イセノナミマイマイ センチコガネ **クワガタ**がいる！」との声が上が
がり、コナラの木をみんなで取り囲みました。樹液に来ていたのはつがいの**ノコギリクワガタ**でし
た。メス、オスともに大きな個体で、子どもたちは大感激していました。その**コナラ**の樹皮は大き
く削り込まれていました。人の手によって樹液が出るための加工がなされているようにも見えまし
た。



クワガタがいる！ ノコギリクワガタ 樹皮が削られたコナラ **カサビゼミ**を捉えました。
そして今月もまた若い参加者が**コクワガタ**を採ってきました。最初はメスのように見えたが、よく見るとアゴの小さなオスでした。近くの足元に**オケラ**がつぼみをつけていました。昆虫にも同じ名前のものがありますよ、と教えられたので、すぐに覚えることができました。





カナヘビ コクワガタ オケラのつぼみ **アセビ**の花もまだつぼみでした。葉をもんで匂いを嗅いでみましたが、特に匂いませんでした。マテバシイの木を観察していると**カネタタキ**が飛び降りてきました。カネタタキは樹上で暮らすので、夜になると頭の上の方から鳴き声が聞こえてきます。マテバシイにはほとんどドングリがついていませんでした。





アセビ カネタタキ マテバシイ カマキリの大好きな**高枝虫双キリ**を捕まえて同定のポイントになる胸の部分を見せてくれました。帰り道のサルトリイバラの葉の上では**アオマツムシ**のオスがじっとしていました。里山の家に戻ると、子どもがケースに入れて持ち帰った**オオカマキリのつがいが交尾**していました。写真を撮るためケースを動かしても全く動じる様子はありませんでした。今月は特に昆虫好きの子どもがたくさん参加して、にぎやかな観察会となりました。虫との出会いを楽しむ一方で、雨上がりのためか至るところでさまざまなキノコを発見し、その種類の多さにみんな驚いていました。





オオカマキリ アオマツムシ 交尾中のオオカマキリ

平和公園での観察項目：オオシロカラカサタケ, ヤスデ, ヤブガラシ, セスジスズメの幼虫, コスズメの幼虫, オオチャバネセセリの幼虫, 寄生されたセスジスズメの幼虫, エビイロカメムシ, イセノナミマイマイ, 折れたヤマナラシ, オオモンシロナガカメムシ, セスジツユムシ, コイチャコガネ, キノコ, キノコを食べるイセノナミマイマイ, ハラビロカマキリ, イチモンジカメノコハムシ, キノコの中のシヨウジョウバエの幼虫, テングタケ, チッチゼミの抜け殻, オンブバッタ, テングタケ, 敷石の下の地盤, ハラオカメコオロギ, ミツバアケビ, ノコギリクワガタ, カナヘビ, キノコの菌糸, コクワガタ, センチコガネ, オケラ (植物), アセビのつぼみ, ネジキの実, マテバシイ, カネタタキ, スズメバチ, ルリタテハ, コムラサキ, ハギ, ヌマガエル, シオカラトンボ, アオマツムシ, カラタチ, オジロアシブトゾウムシ

?